



実は隣で先輩に

※この作品はフィクションです、登場する人物、地名、団体はすべて架空のものであり現実の物とは関係ありません。
※この作品は18歳未満のご購入、閲覧、貸出を禁止してます。
※この作品に登場するキャラクターは全員18歳以上です。
※本作の無断転載、配布、販売、素材等の使用を禁止します。



琴美の事は前から気になってた



クラスでも少し浮いてる彼女に
なんて声を掛けたら仲良くなれるか
毎日考えてた……



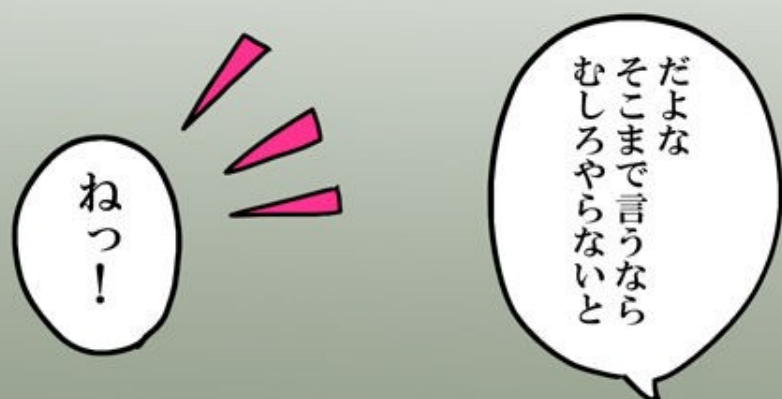
ん？



たまたま目に入った彼女はスマホのゲームに
夢中な姿だった

ゲームが好きならと思い切って
話掛けた、そのおかげで毎日ゲーム
の話で盛り上がるようになったんだ





ゲーム部部长

よっ

大村先輩!?

VRXの話だろ?
それなら俺持ってるぜ?
しかも二つ!

それならうちに
あるぞー

まあ

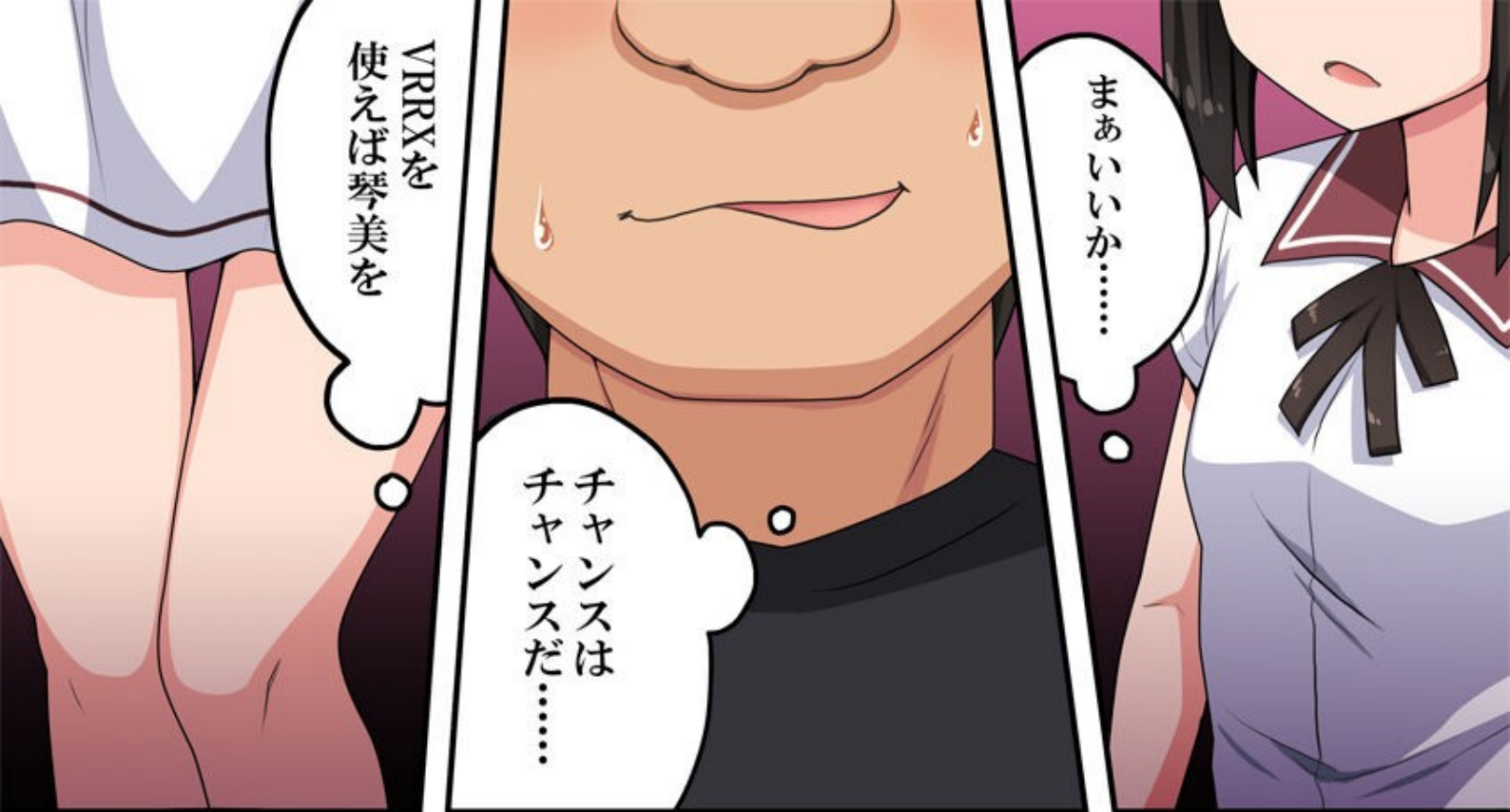
まあ

センパイ!

ちっ……まさか
このタイミングで
チャンスが……

せめて琴美一人の時が
良かったんだが……

本当ですか!?



まあいいか……

チャンスは
チャンスだ……

VRXを
使えば琴美を



お邪魔します



よし、良いだろう
俺の家で
遊ばせてやる

やった！



説明した通り脳波的な
やつで操作するから
コントローラーはない

おお……

最初は違和感があるだろうが
すぐ慣れる……





はあはあふひひっ
琴美のおっぱい♪



たまんねえな
へへへ……

はあはあ

こりや良いぜ
なんでもアリだ

カニシヤ
カニシヤ

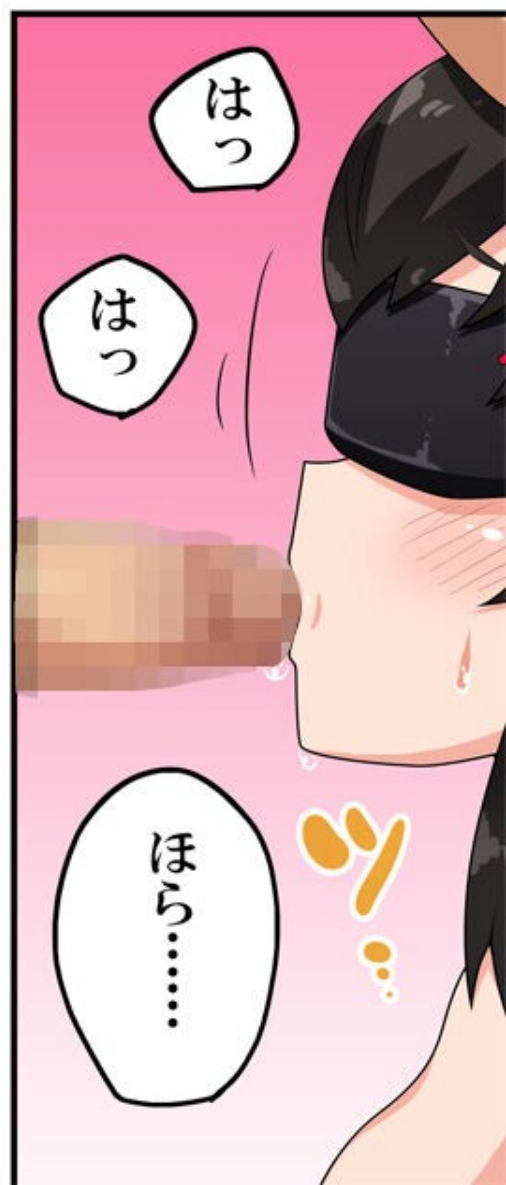
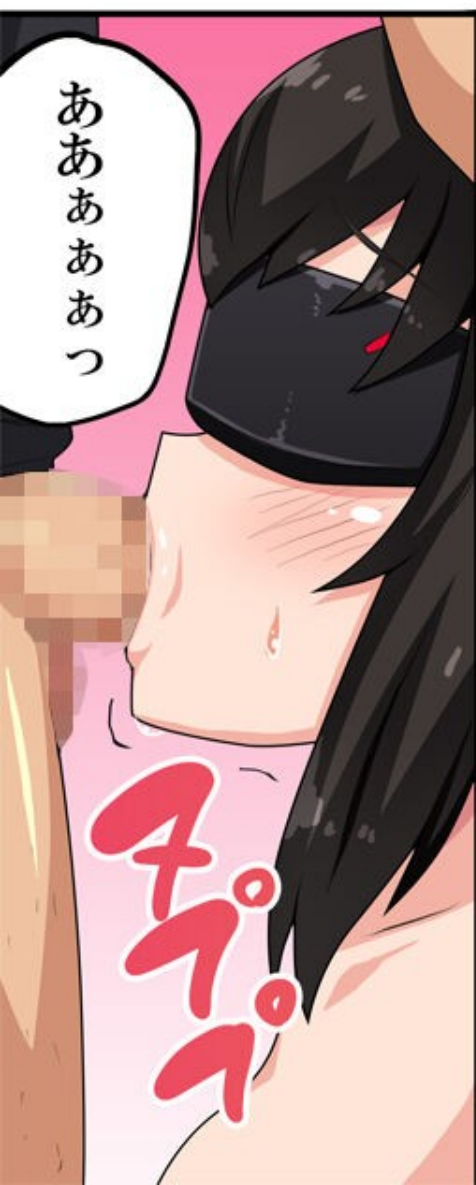
かわいいぜ琴美

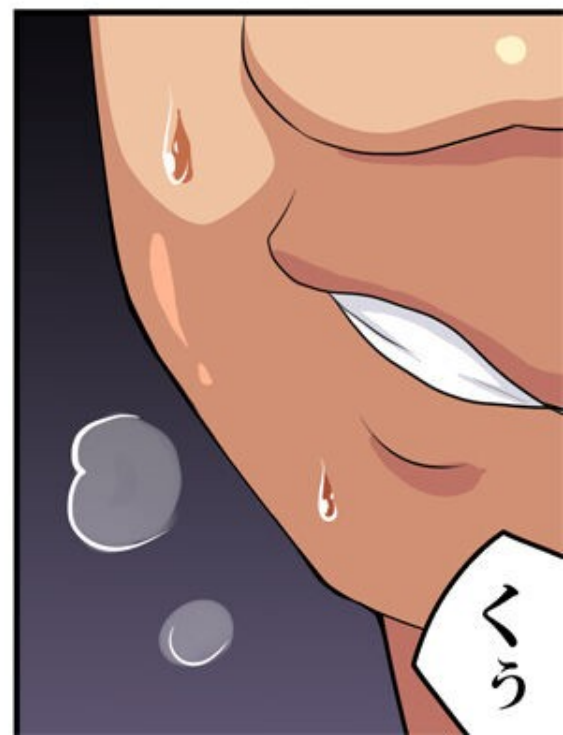
























おらあ

この音を聞けえ
秀介え琴美を
犯す音だぞ！

はあはあ



琴美の新品ま●こは
俺がたっぷり攻略
しといてやるからな

はあはあ

秀介はそのゲームでも
楽しんでてくれ♪

ふひひ

ああ

今まで誰も攻略してない
ここに俺のが……
気持ち良いよ琴美

はあはあ

ほらここに俺の
ち●ぽがあるだろ

あっ

ドッ
ドッ
チンポ
チンポ

ドッ
チンポ





